

広瀬川中州林伐採 賛成

1班 新井夏海 岡村慧視
 勝又雅博 桑原亮
 佐藤遼次 高島あゆみ
 久松明史 成田裕也

賛成する2つの根拠



人々の安全を守る

古き良き景観の復活



根拠①人々の安全を守る

広瀬川の洪水を振り返る

昭和25年広瀬川を襲った洪水



増水した広瀬川の濁流
(仙台市巖石)
(仙台市花壇)

今、昭和25年と
同規模の洪水が起きたら？

現在の流下能力で 氾濫は防げない！

広瀬橋地点	実績流量 (氾濫戻し・ダム なし推定)	河道通過流量	河道超過流量
昭和25年8月	3,100 m ³ /s	2,400 m ³ /s	200 m ³ /s
現況流下能力	約2,200 m ³ /s (区間最小値)		

参考文献：治水に関する目標と具体的内容

http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/kasen_kaigan/nahi/nat_kondan/03/0301.pdf

シミュレーションにより 予想された被害

	想定被害状況
床上浸水	約6,000世帯
床下浸水	約9,200世帯
浸水面積	約4,300ha



参考文献：治水に関する目標と具体的内容

http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/kasen_kaigan/nahi/nat_kondan/03/0301.pdf

人々の安全を守るためにも 洪水による被害を防ぎたい！



どぼじょ正義の味方



土木男児の使命感

河川の流下断面を広げ、
より多くの流量を
安全に流せるようにすることが
必要！



どぼじょ乙女

中州林が流下能力向上の 邪魔をしている

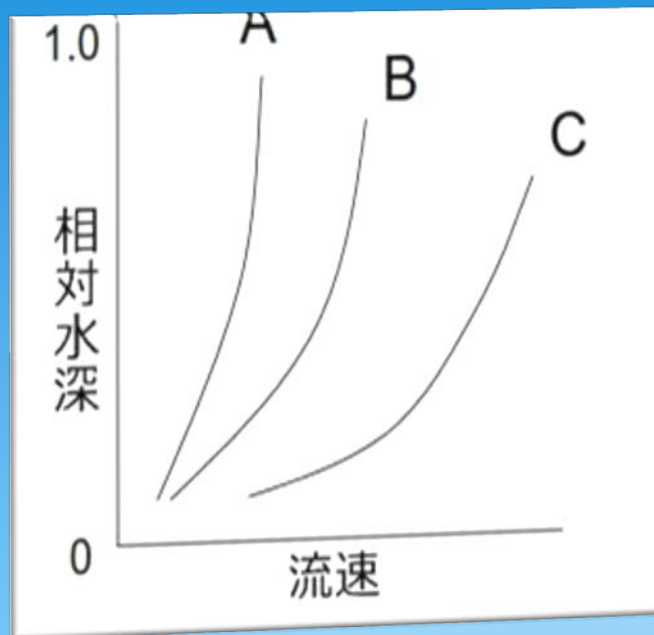


中洲林による 流下能力の低下



- 水が通過可能な面積が小さい
- 樹木等との衝突や摩擦
- 上流から流れてきたゴミや樹木等の集積による流れの阻害

氾濫の危険



A: 樹高 > 水深

B: 樹高 = 50% 水深

C: 樹木なし

樹高が高いほど、洪水時に流速を大きく低下させる。

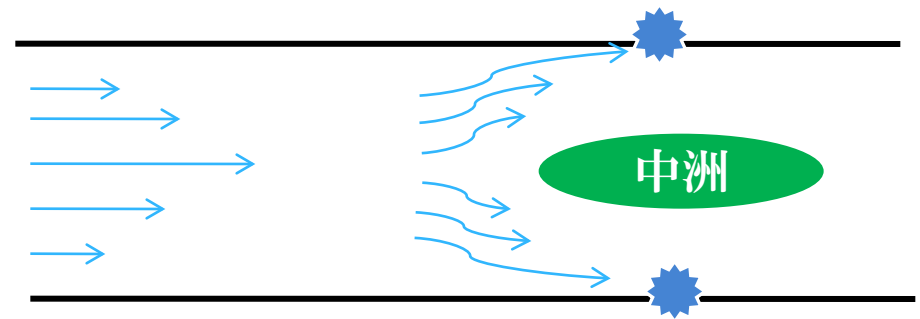
樹木の放置は氾濫の危険につながる！

中州林によるその他の問題

- * 洪水時における中州内の高木の流木化



- * 中州林により流れが左右に分けられ、堤防を傷める



根拠②古き良き景観の復活

現在の広瀬川の景観



現在の景観



緑が多くていいじゃない？

杜の都仙台を代表する
景観ではないか？



市民A・N



市民H・A

実は・・・ほとんどが外来種！！

【外来種】

セイタカアワダチソウ
ニセアカシアなどの
帰化植物の増加

【在来種】

ミクリ, ヤハズエンドウ
といった
希少種が減少

生態系が豊か
とは言えない!!



昔の風景

遠くまで見渡せる



昭和32年 牛越橋下流部



河原で遊ぶ子供たち

昔の広瀬川の河原に林はなく、

ひらけた広い川の景観が見られた。

参考：宮城県土木事務所

現在の景観

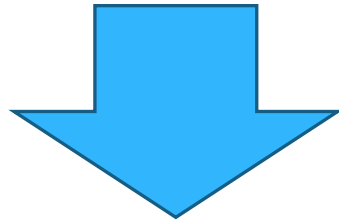
中州、寄り州の林が**無秩序に発達**

→ 遠くまで見渡せない(; ° Δ ° ;)

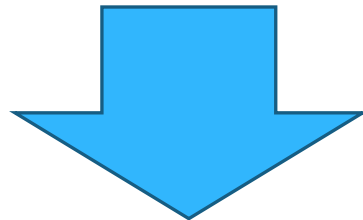


背景

- * 高度経済成長の開始とともに、
上流の宅地乱開発で土砂が流出



- * 岩場だった中州に土砂が堆積



- * 繁殖力の強い外来種が成長、森林化

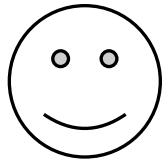


もし中州林を放置したら・・・



広瀬川の本来の景観である広い瀬が楽しめない

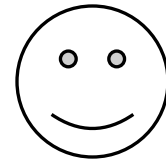
現在までの伐採に対する意見



広瀬川が見違えるようになり、前に比べて川に浸れるようになった。

澱橋付近の住人

今までは広瀬川に行くのに不安があったが、今は川の水に触れられるようになった。



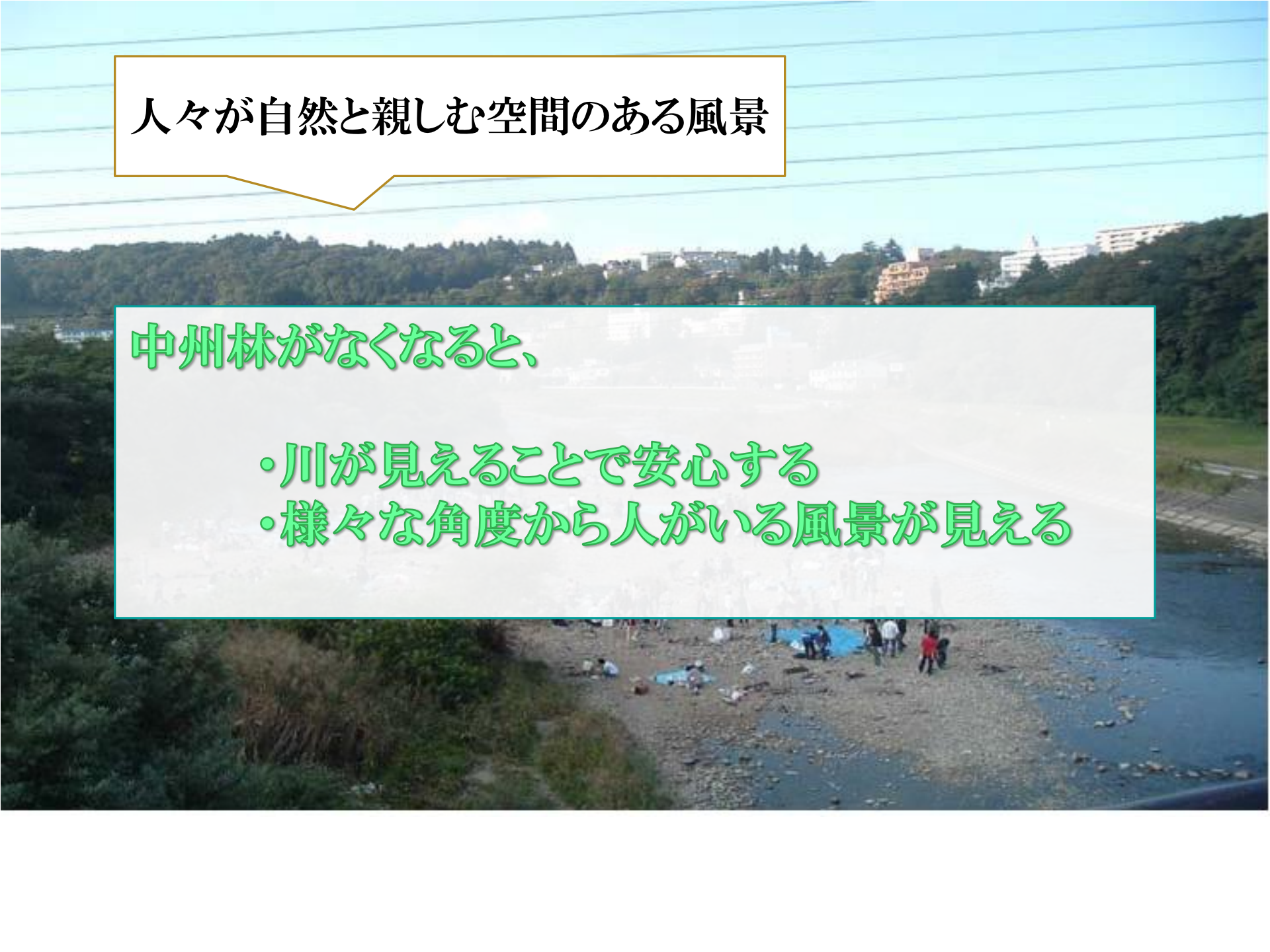
宮沢付近の住人

市民には好評☆

人々が自然と親しむ空間のある風景

中州林がなくなると、

- 川が見えることで安心する
- 様々な角度から人がいる風景が見える



結論

中州林を伐採することは

- ◆ 氾濫の可能性を低くする
- ◆ 流木による二次的被害を防ぐ
- ◆ 広瀬川本来の拓けた景観を取り戻す

という効果がある。

これらより，中州林伐採賛成する

